

50201一般港湾運送業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	11 ～ 12	工事中において、保留作業（台船を岸壁に着岸）を行う際に落水し怪我をした。当時の潮状況により台船側が5cmから7cm高い状況下、表のロープで保留した後、再度中程でロープを取るためにロープを持って車止めの上に足をかけた。その際、ロープの手練りが不足（十分に長さを取らぬまま）し、ロープが張ってしまったため、体が後ろ重心になり引っ張られ、同時に車止めに乗せた足も不安定になり落水し怪我をした。肋骨を折った。	59	1	239	30 ～ 49 人
2	2018	1	16 ～ 17	野積み場でクレーンのギア取り外し作業していた。ユニッククレーンでギアケースを吊り上げたところ、途中でケースが引っ掛かり、ケース内の雨水が流れ出した。そのため、その雨水に油などが混ざっていないか確認に近づいたところ、吊り上げ引っ掛かっていたギアケースが突然引っ掛かりが外れ、振れだしたケースが、確認のため近づいていた作業員と接触し、作業員が転倒、負傷した。	27	6	212	1～ 9人
3	2018	2	15 ～ 16	船舶より厚板の荷揚げ作業終了後に岸壁上にクレーンフックから吊り具を外す際、仮置している厚板に上がり合図し降りたとき、クレーンフックを見て足下を確認していなかったため、厚板の下に敷いていた台木を踏み外し左足を負傷した。	58	2	417	100 ～ 299 人
4	2018	2	8 ～ 9	トラックの2段目のステップに登っていたところ、貧血となりボーッととして、そのまま後ろ側に倒れ、後頭部を地面に強打した。	55	1	221	100 ～ 299 人

5	2018	2	19 ～ 20	トラックの荷台で片付け中に、コイル台とスタンションの間に、左手小指を挟み骨折した。	35	7	522	50 ～ 99 人
6	2018	2	10 ～ 11	垂直ラダーを昇り船倉外へ出ようとしたところ、約1m付近で足を滑らせ、船底に右足踵から着地して踵骨を骨折した。	28	1	371	100 ～ 299 人
7	2018	3	1 ～ 2	屋内にて飼料原料をダンプセミトレーラーへ積み込み作業を行っていた。積み込み作業が終了し、運転手と被災者でトレーラー上部に上り荷台シートをかけるため後方へ向かってシートを引っ張っていた。荷台後方で体勢を入れ替えるため、前方に体を反転させて足場板に足を下したときに足場板を踏み外し、足場板と荷台の隙間に足が挟まり体勢を崩して荷台から転落した。	59	1	221	50 ～ 99 人
8	2018	3	15 ～ 16	バース接岸船の5デッキ4ホールドに積み付けされたブルドーザーの固定作業に従事していた。被災者は他の人が掛けたラッシングチェーンをルメラにて締めようと力を入れたとき、キャタピラに掛けたチェーンの爪部分が外れ、被災者の保護帽に当たり負傷した。	49	6	379	10 ～ 29 人
9	2018	3	9 ～ 10	ドックにて修理中、倉庫を移動する際に開放していたマンホールに左足が転落し、左足の太ももを強打した。	55	2	418	10 ～ 29 人
10	2018	3	10 ～ 11	木材港にて木材製品の荷卸し沿岸作業を行っていた被災者は、降りてきた木材製品の下にフォークリフトがすくいやすくするため、リン木を置こうとしていたが、右手を離すタイミングが遅れ被災した。	64	7	522	10 ～ 29 人

11	2018	3	13 ～ 14	他社サイロ内で、ダンプへの貨物積み込み業務を行っていた。当該サイロの搬出口開閉に関しては運転手自らが高さ約2mのステージに設置されている開閉ボタンを押すことで、流量調整を行っており、ボタンを押すために運転席を離れたところ、ダンプが動きだしていることに気付き、ダンプを止めるために高所ステージ昇降途中、約1mの高さから飛び降りた。その着地の際、被災した。	58	3	417	30 ～ 49 人
12	2018	5	9 ～ 10	鋼材の荷揃え作業を行っていて、2段積された鋼材の上でクレーンで吊されたワイヤーを手に取り鋼材にワイヤーを掛けるため鋼材端面部へ移動し、端面部から降りようとした際、片足を滑らせバランスを崩してしまい足下の鋼材に尾骨部周囲を打った。	31	2	521	30 ～ 49 人
13	2018	6	8 ～ 9	本船入出港時間を確認する際、誤って階段から転落し、右手と右足を強打した。	22	1	413	30 ～ 49 人
14	2018	7	20 ～ 21	警戒業務を終え、係留地に到着し、その後帰宅準備でバッグを舵側へ取りに行く途中、エンジンルームの開口部に転落し、胸部を強打し肋骨を折った。	68	1	414	10 ～ 29 人
15	2018	8	14 ～ 15	船に鋼材積み荷後、フォークリフトが資材の片付けをするため走行していたが、バース前の荷捌地からの資材の片付けをしている岸壁まで行こうとし、左右の確認をしないまま歩き出したときに、フォークリフトの左前輪に右足を挟まれ、転倒した。	71	7	222	1～ 9人
16	2018	9	10 ～ 11	台風対策作業中、荷捌地に保管しているフレコンバック（高さ約50cm）の養生後、下りる際にフレコンバックの紐に足を掛けてしまい転倒して、左脇腹を地面にぶつけて左肋骨骨折を負った。	47	1	611	10 ～ 29 人
			10	台風対策作業中、荷捌地に保管しているフレコンバック（高さ約				10 ～

17	2018	9	10 11	50cm) の養生後、下りる際にフレコンバックの紐に足を掛けてしまい転倒して、左脇腹を地面にぶつけて左肋骨骨折を負った。	47	1	611	29 人
18	2018	9	10 11	台風対策作業中、荷捌地に保管しているフレコンバック（高さ約50cm) の養生後、下りる際にフレコンバックの紐に足を掛けてしまい転倒して、左脇腹を地面にぶつけて左肋骨骨折を負った。	47	1	611	10 ～ 29 人
19	2018	9	10 11	台風対策作業中、荷捌地に保管しているフレコンバック（高さ約50cm) の養生後、下りる際にフレコンバックの紐に足を掛けてしまい転倒して、左脇腹を地面にぶつけて左肋骨骨折を負った。	47	1	611	10 ～ 29 人
20	2018	10	8 9	敷地内でフォークリフト作業中、出入口付近にあるグレーチングの隙間にリフトのタイヤが挟まった。リフトのタイヤを押し上げたあと、隙間を埋めようと手でグレーチングをずらしたとき、右手中指と薬指を挟んだ。	49	7	418	30 ～ 49 人
21	2018	11	11 12	倉庫前プラットフォームで、ゴム製ロールを海上コンテナへバンニングしていた。ロールボックスパレットを後ろ向きに引いてスロープを下りる際、ロールボックスパレットが傾いて転倒し、被災者が貨物と地面の間に挟まれた。	45	7	611	500 ～ 999 人
22	2018	11	7 8	国道を走行中、赤信号でブレーキを踏むのが遅れ、信号待ちしていた前方のトレーラーに追突した。	33	17	221	10 ～ 29 人
23	2018	12	8 9	事務所で、壁に掛けられていたカレンダーを新しい物に交換していた。踏み台代わりにパイプ椅子に乗って作業を行おうとしたところ、椅子の上でバランスを崩し、右手首を骨折した。	64	1	371	50 ～ 99 人
			10	コンテナ船ホールド内、コンテナ上でコーン（治具）を外し終わ				10

24	2018	12	～ 11	り、船底に降りる際、はしごを使用せず船のセルガイド（構造物）を使って降りようとした。残り1mの所で足を滑らせ、船底に転落して腰を打ち第12胸椎椎体を骨折した。	64	1	239	～ 29 人
25	2018	12	～ 19	倉庫前で、貨物を40フィートフラットラックコンテナへVAN詰め作業後、貨物の上部にてラッシング作業に従事していた。ラッシング作業終了後、次の作業に取り掛かるために地上に降りるとき、約2～3メートルの貨物上部から直接地上に降りた。その際、着地したときの衝撃で右足首を骨折した。	64	3	611	10 ～ 29 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。